



2007年3月20日

各位

会社名 株式会社みずほフィナンシャルグループ
代表者 取締役社長 前田 晃伸
本店所在地 東京都千代田区大手町一丁目5番5号
コード番号 8411 (東証第一部、大証第一部)

平成19年3月期 連結業績予想の修正について

平成18年11月20日に公表した平成19年3月期の連結業績予想につきまして、与信関係費用の増加、株式関係損益の悪化等もあり、以下のとおり修正いたします。

なお、当社単体の業績予想及び配当予想に関する修正はございません。

平成19年3月期 連結業績予想

(単位:億円)

	経常収益	経常利益	当期純利益
前回予想 (平成18年11月)	38,000	10,800	7,200
今回修正予想	39,000	6,200	5,400
増減額	+1,000	▲4,600	▲1,800
増減率	+2.6%	▲42.6%	▲25.0%

以上

本資料には、将来の業績等に関する記述が含まれております。こうした記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としており、かかる記述及び仮定は将来実現する保証はなく、実際の結果と大きく異なる可能性があります。また、事業戦略や業績など、将来の見通しに関する事項はその時点での当社の認識を反映しており、一定のリスクや不確実性などが含まれております。これらのリスクや不確実性の原因としては、与信関係費用の増加、株価下落、金利の変動、外国為替相場の変動、法令違反、事務・システムリスク、日本における経済状況の悪化その他様々な要因が挙げられます。これらの要因により、将来の見通しと実際の結果は必ずしも一致するものではありません。当社の財政状態及び経営成績や投資者の投資判断に重要な影響を及ぼす可能性がある事項については、決算短信の「3. 経営成績及び財政状態」のほか、有価証券報告書、ディスクロージャー誌等の本邦開示書類や当社が米国証券取引委員会に提出した Form20-F 年次報告書等の米国開示書類など、当社が公表いたしました各種資料のうち最新のものをご参照ください。当社は、業績予想の修正等将来の見通しの変更に関する公表については、東京証券取引所の定める適時開示規則等に基づいて実施いたします。従って、最新の予想や将来の見通しを常に改定する訳ではなく、またその責任も有しません。